

# 市民クラブ未来 蓮田市議会報告

2023.7月号  
Vol.1



会派代表

菊池 よしひと

蓮田市大字蓮田1032-5  
TEL・FAX:048-768-8381



斎藤 斉

蓮田市東1-4-21  
TEL・FAX:048-768-4308



武藤 やすし

蓮田市大字黒浜31 10-35  
TEL・FAX:048-764-2662



副議長

はたくにお

蓮田市馬込1-350-8  
TEL・FAX:048-764-0998

## 市民クラブ未来 会派の方針 『新しい蓮田の未来を創ります!』

4年前に発足した「市民クラブ」が「未来」という文字を冠して復活しました。

私たちは、情熱・経験・実行力を持ち、**市民の皆様が目線に立ち、市民の声を取り入れ、市民のための活動**を行ってまいります。

市の行財政の問題に正面から向き合い、問題解決のため提案・提言を行い、古い蓮田の慣習を突き破って**新しい蓮田市の未来を創ります**。そして蓮田の市政がもっとわかりやすく市民に見えるようにし、「**蓮田は変わっていくな、いい街になるな**」と皆様に実感してもらえよう、日々活動してまいります。

※「市民クラブ未来」は、5月3日にはたくにおを会派代表として4人で発足しましたが、5月18日の臨時議会ではたくにおが副議長に選出されたため、慣例により本会派を退会しました。そのような経緯から、4人で議会報告をさせていただきます。

## 各議員の役職等

菊池よしひと(3期)

会派代表  
議会運営委員  
建設経済委員会委員長

斎藤斉(2期)

民生文教委員会委員  
埼葛斎場組合議会議員

武藤やすし(1期)

民生文教委員会委員  
蓮田白岡衛生組合議会議員  
市議会だより編集委員

はたくにお(2期)

副議長  
総務委員会委員

## 令和5年6月議会 議案報告

山口京子市長から6月定例会に提出されました議案第29号から55号については、全て同意・可決されました。議案の主なものは次のとおりです。

- (1) 議案第29号・30号 蓮田市教育委員会委員の任命
- (2) 議案第31号～44号 蓮田市農業委員会委員の任命
- (3) 議案第54号 令和5年度蓮田市一般会計補正予算(第3号)

① 出産祝金支給事業 1,900千円

令和5年4月1日以降出産した市民の方に、県のコパンベビーギフト支給に併せ、対象児童1人につき5,000円を支給する。

② プレミアム付商品券発行事業 40,000千円

蓮田市商工会に委託し、10,000円(1冊)で12,500円分の商品が購入できる商品券を12,000冊発行する。

- (4) 議案第55号 令和5年度蓮田市水道事業会計補正予算(第1号)

本年8月検診分から来年1月検針分までの6か月間、水道料金の基本料金及びメーター使用料をそれぞれ半額とする。

菊池よしひとの一般質問では大きく分けて4問の質問をしました。それぞれの質問に菊池よしひとが目指す蓮田に近づけるように期待をこめて質問をしました。一日でも早く実現できるよう日々の活動に取り組んでまいります。

## 1.大雨対策について

5月22日及び6月2日には市内にも大雨が降りました。特に5月22日の大雨では夜間に短時間で強く降ったため市内各地で冠水及び浸水などが発生しました。私の質問では被害状況の確認、水路の浚渫及び配管の清掃などの維持管理について、また対策として地下に一時的に雨水をためる雨水貯留槽の設置に関する市の見解を確認するとともに、被害のあった場所の、配管、桝の清掃及び配管の勾配確認、適切なサイズの配管を設置しているかの確認を求めました。

道路冠水などに関しましては、菊池よしひとと土木経験を活かし引き続き対策を検討してまいりますのでよろしくお願いします。

## 2.小・中学校トイレ改修及び校舎改修について

学校のトイレに関しては私が議員になって約9年全力で取り組んでまいりました。しかしながら市内のトイレ洋式化率は55%となっています。

質問では、教室のあるフロアにあるトイレで洋式便器のないトイレが13箇所あることが確認できました。引き続き洋式便器のないトイレ13箇所を早急に改修するように求めています。

校舎改修工事に関しては私の地元で母校でもある蓮田南中学校の大規模改修について質問をしました。市の計画では令和6年8月に設計委託が完了、その後すみやかに工事準備に入るとの事でした。教育委員会からは「すみやかに建設を進める」との答弁でしたので、菊池よしひとは令和7年度での予算確保、令和7年度初期に工事を開始できるよう準備する提案をさせていただきました。



## 3.総合市民体育館サブアリーナ建設について

この一年間で市民のみなさまから多かったのが、このサブアリーナ建設問題についてです。私は当初からサブアリーナ建設計画に関しては「今は建設すべきではない、再検討が必要」という立場で活動をしてまいりました。

以下質問の一部を掲載させていただきます。

**質問** 建築費はいくらか。

**答弁** サブアリーナの工事費は基本設計時で税込み12億4,080万円です。

**質問** 建築費に令和5年4月の建設物価単価は適用されているか。

**答弁** 令和4年度の基本設計時の単価となっている。  
※令和4年度と令和5年度では各職方さんの労務単価が値上がりしています。

**質問** 市民の理解を得られていると考えているか。

**答弁** 市議会での継続的な一般質問や、2,011名の署名簿とともに提出された要望書、サブアリーナ建設等検討会議での検討、基本計画の意見募集等を踏まえ、多くの方の理解は得られていると考えている。

**質問** 要望書はいつ提出されたものか。

**答弁** 平成23年に提出されたものです。

**質問** 私の周囲の方ほぼすべてがサブアリーナは今、建設すべきではないとの意見です。市長の考えは。

**答弁** 私の周りの人はみんな賛成です。防災のための施設を造るのではなくて、体育施設という役割で必要だと考えています。

他に「土地利用及び都市基盤整備について」を質問しました。

みなさまのご意見ご感想をいただければ今後の活動のはげみになります。よろしくお願いいたします。





6月定例会は武藤やすしにとって初めての一般質問でした。今回は①「第5次総合振興計画」について ②シティセールスについて ③PPP/PFI(民間資金等活用事業)を取り上げました。

## 1.第5次総合振興計画

第5次総合振興計画は今年3月に5年経過後の見直し改定が行われました。しかし時勢変化に伴う手直しのものばかりで、DXや脱炭素など大きな変化についての事業の追加変更はなされず「議会の承認を避けた各種計画などで市側で決めて実行すればいい」という姿勢が感じられます。予算概要説明との違いなど私なりの疑問に関し質疑を行いました。

- 質問**
- 1.今後5年間の社会環境の変化をどのように計画に織り込んでいくのか。
  - 2.総合振興計画が最上位計画とする一方で各種計画は議会との議論なく進められているがいかげんなものか。策定後に全員協議会等で説明したらどうか。
  - 3.3ヵ年実施計画の事業費額と予算の概要説明における事業費額が異なる。説明が不十分ではないか。

- 答弁**
- 1.本計画のさらなる改定は行わないが、社会環境等の変化や対応について3ヵ年実施計画前文で述べることは来年度以降考えていきたい。
  - 2.各種計画を策定前に議会に説明することは考えていない。
  - 3.予算段階で3ヵ年実施計画にない新たな事業が加えられるものがある。実施計画との違いを説明することについては来年度予算の時に検討したい。

### 【今後に向けて】

予算編成段階で実施計画にない種々の案件が付加されていくことへの整合ある説明を求めるとともに、社会経済環境の変化に機敏に対応した総合振興計画の運用(優先順位の考え方を含め)を行うよう当局に働きかけていきます。

## 2.蓮田市のシティセールス

蓮田市のシティセールスは他市と違って総合的な実行計画もなく出たところ勝負の活動になっています。また活動の数字的ゴールも設定されていません。今回は現在のシティセールス活動の問題点を浮き彫りにすることを主眼に質問を行いました。

- 質問**
- 1.シティーセールスのターゲットとゴールは。
  - 2.数字でのゴール設定を含むシティセールスの総合計画を策定して活動を進めるべきではないか。
  - 3.蓮田市キャッチコピー(とかいなかNo.1)の浸透・活用策は。

- 答弁**
- 1.施策対象は蓮田市民・他市の方々全て。活動のゴールは振興計画蓮田市の将来理想。
  - 2.数字のゴールは令和9年の将来人口60,600人。現在総合計画を作ることは考えていないが将来的に策定が必要になるかもしれない。
  - 3.キャッチコピーの浸透度は十分でないと感じている。今後の活動に活かせるよう工夫したい。

### 【今後に向けて】

シティセールス(プロモーション)の本来の目的は「蓮田市の社会認知を高め」「市民の蓮田への愛着や誇りを高める」ことで「定住人口、交流・移住人口の増加」や「蓮田産品・産業の活性化」につなげることです。市としてシティセールス計画をきちんと策定し、目標を決め、蓮田が外に売り、発信できる強みとなりうる「プロダクト」を全市挙げて創っていく必要があります。この具体化についてしっかり当局と議論していきます。

## 3.PFI (Private Finance Initiative : 民間資金等活用事業)

PFI(Private Finance Initiative)とは、民間活力を活用・導入して質の高い公共サービスを実現することを目的として国が強く推進している手法です。民間の資金調達や事業運営方法を使うことで公営側の費用を縮減したり平準化することが可能になり、市民への予算配分の選択肢を広げるなどのメリットが生まれます。しかし蓮田市ではPFIに関する議論がほとんど進んでおらず、当面の事業への積極的活用の姿勢も見られないことから、今後に向けた市の姿勢と考え方を糺すために質問を行いました。

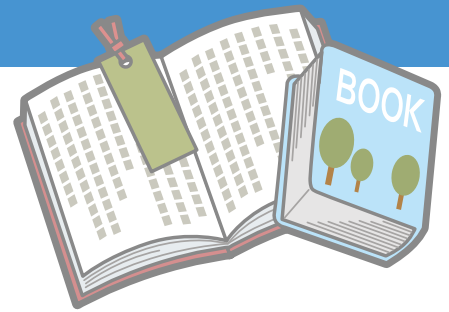
- 質問**
- 1.PPP/PFIについて蓮田市での導入・検討状況は。
  - 2.今後の市の事業においてPFIを活用する考えはあるか。メリット・リスクをどう考えるか。積極的に活用を検討すべきではないか。

- 答弁**
- 1.PFIの導入実績はない。PPPでは駐車場や学童保育所での指定管理者の導入を行っている。
  - 2.PFIは、施設完成後に市は事業主に対して建設、運営、維持管理の費用を毎年支払うことになる。失敗事例もあり、将来を見据え慎重な対応が必要と考えている。今後公共施設等において構想段階から導入を検討する場合はプロジェクト方式等今後検討していくことはあり得る。

### 【今後に向けて】

全国で多くの自治体が国の方針に沿って導入を検討しているのに比べ、蓮田市では市長答弁も含めPFIについて後ろ向きです。今後市としてPFIを積極的に活用していく方針と風土を醸成する活動を強化していきます。





## 駅近くに書店を誘致することについて

偶然手に取った本との出会いの場でもある書店が、全国の街から消えつつあるのだそうです。書店の消失に危機感を持った全国の自治体の中には、その対策を始めたところもあるようです。蓮田駅周辺に書店がゼロとなった現在、

**質問** 書店の誘致の可能性は。

**答弁** 本を入手する方法が、書店以外でも可能となった現在、その可能性は厳しい。青森県八戸市では2016年から市の職員が所長を務めるブックセンターを直営。福井県敦賀市で年間約9,000万円の委託費やテナント代を市が負担、運営を民間に委託する公設民営の書店を去年9月にオープン。

**質問** 蓮田市でも同様の書店を導入する考えは。

**答弁** いずれも「単に本を購入するための書店」ではなく、豊かな本との出会い、知に触れる楽しさを提供し、カフェスペースなどもあり賑わい拠点としての新しい施設であり先駆的な取り組みですので、今までにない新しい書店の効果成果を研究してまいります。

## はたらくにお 一般質問

### 1.福祉行政の向上について

**質問** 障がい者の方にとって、自分がどのような福祉サービスを受けられるのか市作成の「身体障がい者の福祉ガイド」を見てもわかりづらい。また、地域別の説明会や相談会等、障がい者の方々が必要なサービスをより確実に利用できるような場が必要では。

**答弁** 福祉ガイドについては、今後、よりわかり易いものとするべく近隣市町を参考に研究するとともに、相談については委託相談支援事業者等と連携し相談機能の充実を図って、必要な人に必要なサービスが行き渡るよう努力したいと考えます。

**質問** 蓮田駅西口行政センターで扱う障がい福祉サービスの種類について、増やすべきでは。

**答弁** 福祉タクシー利用券や燃料費助成券については、行政センターでの交付が可能か検討し、可能となった際には利用者に周知したいと考えます。

**質問** 身体障害者手帳の新規交付に要する期間は。

**答弁** 県が示している標準処理期間の36日以内で交付できるよう努力はしていますが、ほとんどの場合超えているのが現状です。担当ケースワーカーとの日程調整で時間がかかってしまう場合、他のケースワーカーが対応し時間短縮を図っています。

**質問** 身体障害者手帳の交付方法は。

**答弁** 本人が窓口に来られない場合、家族等代理の人や郵送でも交付が可能なので、要望等はあまりありません。

**質問** 身体障害者手帳について、新規の交付数や傾向は。

**答弁** 令和4年度で108件です。年齢区分では高齢者が多く7割を超えていて、障がいの種類では約7割が内部機能障害による申請となっています。



### 2.蓮田駅ロータリー的美観確保について

**質問** 私は令和元年12月議会で、蓮田駅東口ロータリーは草がぼうぼうで管理が不適切との一般質問を行った。その時の答弁では、管理が適切に行われていない状況を認め、今後改善するとのことであったが、その後の改善策は。

**答弁** 草刈りの回数を増やすなど、2度の改善を図りました。

**質問** 現状はそれでも不十分である。今後同じことが起きないような方策は。

**答弁** 除草の実施時期等は検討すべき点があったと考えております。当該場所は植物にとって非常に過酷な場所であり、新たな方策は見当たらないことから、現在6月から行っている草刈りの時期を早めるなど、適切な管理ができるよう努めてまいります。

